

AUDI EXCLUSIVE

斬新なるアウディ
スタイリング&パフォーマンス

アウディの快進撃が止まらない。それは新車販売台数だけでなく、レースフィールドの実績でもモディファイベースとしての人気でも、まさに独走状態。そんなアウディの「真知」を探りに、まずはABTの本拠地クドラーからレポートを敢行する！

VON DER RENNSTRECKE
AUF DIE STRASSE



ABT TRUE AUDI TUNER

ドイツでは、複数の自動車専門誌が読者による投票で人気No.1のチューナーを決めるランキングを開催しているが、常にアワードの常連となっているのがABT（アプト）。アウディR8 LMSによるニュルブルクリンク24時間耐久レースやA4 DTMでのDTMレースで、アウディワークスの中核を担うアプトだけに、地元ドイツをはじめとしたヨーロッパ市場で絶大な人気を誇っていることは大いに納得できる。レースやモータースポーツでの実績がないと、チューナーとして評価されることは難しいのがドイツのマーケット。そんな厳しい目にさらされるドイツで常にトップチューナーの地位を獲得している背景には、アウディ

ワークスのモータースポーツ活動の中核として、結果を出し続けている実績があるのだ。ただしレースで活躍すれば、即チューナーとして高い支持率が得られるものではない。市販車には市販車なりの特性やニーズがあり、それらに合わせたチューニングパーツの供給やノウハウを有していない限り、チューナーとして信頼を得ることはできない。もちろん性能面だけでなく、デザインクオリティーも求められることはいくらでもでない。アプトのボディパーツは、純正のようなマッチングの良さを実現しながら、さりげない違いをアピールできる点が支持を集めている。仕立ての良い、洗練

された大人のジャケットのようだ。さらりと羽織って外出すれば、どこに行ってもオシャレに見えるし、どんなシーンにもマッチする。そのうえ、完成度の高いECUチューニングプログラムも用意されているから、性能面もスマートに鍛え上げることができるというわけ。さらにアプトの日本総代理店を務めるラガーコーポレーションが、インストールからアフターサービスまでを充実した態勢でフォローしているから安心してチョイスすることができる。今やドイツでも日本でも、アウディチューニングを考えると、その選択肢のトップは、常にアプトというのが常識になっているのだ。



ABT ENGINEERING SIDE



1. ABT NEW COMERS!



2.



3. ドイツで圧倒的な人気を誇るアウディA6セダンをベースとしたA66。ボディキットは、フロントリップスポイラー（価格12万9150円）、サイドスカート（価格11万2350円）、リアスカート（ABTエンドパイプ付）（価格29万1900円）、リアスポイラー（7万3800円）、21インチホイール「タイプDR」は、サイズ21×9.0で価格は14万7000円だ。そのほかサスペンションやマフラー、エンジンECUチューニングプログラムもすでに日本で導入している。2011年11月のモックアップショーでは、A6アバント版となるA66アバントが発売された。角4本出しのテールパイプも含め、デザインテイストはセダンを真似、洗練された美しさと、さりげない力強さが同居



する。3.人気急上昇中のニューホイール「タイプDR」。装着サイズは21インチだが、ライニングは18×8.0〜22×10.0インチまでそろそろ。価格は8万8500〜15万5000円。4.もうすぐ日本での発売も開始されるアウディQ3プロプログラムもすでに完成している。ドイツ本国をはじめヨーロッパでは人気と異なり、ノーマルフォルムの完成度が高いので、密にまとまり過ぎている印象のあるQ3に、高度な技術とスポーツイメージを添えてくれる。日本価格は未定。5.アウディR8をベースとしたコンプリートカーR8 GT Rのオプションモデル。すなわちR8スパイダーベースとなるR8 GT R。6.エンジン、エクステリアのチューニングだけでなく、もちろんインテリアのスペシャルマイドも同様とする。



7.ECUの開発やテストで使用されるシャシーダイナモ。レース活動からフィードバックしたノウハウを市販車に投入し信頼性の高いプログラムを制作する。8.アプトのECUチューニング「アプトパワー」は、エンジンが実装しているポテンシャルを最大限に引き出すチューニングプログラムで、シャシーダイナモテストを豊富に、耐久性及び信頼性を確認した上で製品化されている。アプタープローが充実していることも魅力。9.2011年シリーズのDTMでは、「アウディスポーツチーム・アプトスポーツライン」がチームタイトルを獲得し、ドライバーのマティアス・エクストロ



ムとティモ・シャイダーは、同ドライバーズランキングの2位と4位にランキングするなど輝かしい成績を残している。10.アウディR8をベースとしたコンプリートカーのABT R8 GT Rは、中華や中国などからも多数のオーダーを受けるほどの人気ぶり。11.DTMでは、アプタープローチームとして5回もエントリーさせていたアプト。ニュルブルクリンクから1時間限りのケンパトンにあるアプト本社の工場で作成・メンテナンスが行われている。12.シャシーダイナモの設備は一般車用のチューニングなどが行われるピットの一隅に設置され、試写や検査などの設備もしっかりと整っている。